

第32回 ISMケルン国際菓子専門見本市

2002年1月27日(日)～30日(水)
ドイツ連邦共和国 ケルン・メッセ会場

- ファイナル・レポート -

**ISM 2002：高密度、効果的、国際的な専門メッセ
来場バイヤー、質の高さが好評
活発な商談とコンタクトが業界にインパクト
世界の菓子業界をリードするISMは唯一の存在**

第32回ISM -ケルン国際菓子専門見本市について、参加した出展企業と来場バイヤーは、「高密度、効果的、国際的」と評価しています。73カ国から参加した1,535社の出展企業(80%が外国企業)は4日間にわたり、123カ国から来訪したバイヤーに多彩な展示商品を提示しました。本年より新しく採用されたドイツ見本市統計協会(FKM)の規定に沿って推計した総入場者数は3万3千人で、そのうち60%が外国人でした。また従来基準に即した専門バイヤーの数は昨年同様の約2万8千人でした。

出展企業は、来場バイヤーの質の高を改めて賞賛し、好調なビジネスとコンタクトを報告しています。多彩化する一方のシーズン商品と並んで、出展メーカーは新製品やトレンド商品に対する来場バイヤーの関心呼び起こし、新しい年に向けての菓子ビジネスに強いインパクトを与えることができました。会期中に一貫して感じられた前向きな雰囲気は積極的なオーダーにも現れています。ですからメッセ以後の菓子ビジネスの商談成立に大きな期待が寄せられます。

ISMは国際的な商取引の場です。出展メーカーとバイヤーの構成は国際色豊かで、今年もグローバル・ビジネスにとって理想的な出会いの場が提供されました。特に、南欧、東欧、北アフリカからのバイヤー数が前年を上まわりました。

出展メーカー・来場バイヤー双方の高い国際性は、様々に結ばれたビジネス・コンタクトに明白に現れていました。例えば、ブラジルの出展者が台湾や南アフリカのバイヤーと取引関係を結んだり、またスイスのメーカーがアメリカ合衆国やカナダからのディーラーと商談を取り交わしたり、あるいはトルコのブースでは出展企業をロシア人バイヤーが訪れたりしています。

「2002年のISMは、ここケルンを通じて世界市場にアクセスできることを改めて証明しました。ケルン・メッセ会社のヴォルフガング・クランツ展示部長はこのように語っています。

昨年4日間に短縮されて好評だったISMの会期は今年も変わらず、会場内はビジネス・ムード一色に塗りつぶされました。2001年から使用されている4号館を含めて、全8ホールの総展示面積は8万2千㎡に達します。会期中4日間とも、会場は来場バイヤーで活気に満ち溢れていました。

2002年1月27日にはISMの開会式が開催され、ゲストスピーカーであるカレル・ファン・ミアート氏は、菓子業界とその最重要なメッセであるISMのグローバル化に賛嘆の意を表しました。前EU競争政策委員であったミアート氏は講演の中で、ヨーロッパのメーカーと消費者のために公正な競争の必要性とその効用を説き、そのために不可欠な改革をヨーロッパ各国の政府が継続して行なうよう要請しました。

開会の挨拶の中で、国際菓子メッセ協会(AISM)とドイツ菓子工業会(BDSI)会長であるディートマー・ケンジュール会長は、EUに加盟申請している国々に対して、加入の前に原料価格の修正をするよう求めました。

ISMは、ケルン・メッセ会社と協賛団体である国際菓子メッセ協会(AISM)が共同で開催しています。ISMにはありとあらゆる年令の消費者を対象とするスイート商品が全世界から集まり、専門バイヤーのみを対象に公開されています。2002年の具体的な商品トレンドにつきましては、下記アドレス(ケルン・メッセ本社:ISMホームページ)をご一読下さい。

<http://www.koelnmesse.de/servlet/PB/menu/1060199/index.html>

次回のISMは、2003年1月26日(日)～29日(水)に開催されます。

ケルン・メッセに関するお問い合わせは下記までどうぞ。

在日ドイツ商工会議所 ケルン・メッセ代表部

〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル5F

Te l : 03 - 5276 - 8731 Fa x : 03 - 5276 - 8734

E-mail : kmjpn@koelnmesse.org

http://www.koelnmesse.org